

# 【別紙1】令和7年度生涯学習センター事業運営の考え方

## 令和7年度生涯学習センター事業運営の考え方

- 令和5年2月に策定した「第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画」に基づき、生涯学習センターの事業運営に取り組む。
- 計画策定3年目となる令和7年度については、令和6年度の考え方を基本としながら、令和6年度上半期の実績等を踏まえ、事業の見直しに取り組み、内容の充実を図っていく。

## 生涯学習センターの役割

### 多様な学習機会の提供を通じた意識醸成

アイスブレイクで各分野の意識醸成を取り入れる  
各分野の啓発チラシを配布する

### 学びを通して、人々がつながり、学び合うことができる機会の提供

NPO・大学・企業等と積極的に連携し、個人の成長を促す講座の実施

### 実施方法の工夫による幅広い世代の参加の促進

開催日時を検討、託児の充実、SNSやデジタル技術の活用等

### 学んだ人が意欲的・主体的に地域とつながる事業の実施

地域団体との協働・共催した講座や文化祭・地域のイベントの開催

地域住民や多様な団体が交流・活動しながらつながる場として施設の活用を促す事業の推進

# 【別紙1】令和7年度生涯学習センター事業運営の考え方



## 生涯学習センターで取り組む事業

継続	
重点項目	取組内容
(1)	段階に応じたデジタル関連講座の実施 (スマホ講座におけるデジタルサービスの利活用など)
(1)	デジタルを活用した講座の周知・参加者募集
(2)	孤立しがちな子育て世代のコミュニティ形成を促す参加交流型講座の実施
(2)(3)	地域や外国人，親子等，参加者間の交流の場の提供
(3)	地域課題を共有し，地域への興味関心や郷土愛の醸成
(4)	学習相談支援サービスの充実

強化	
重点項目	取組内容
(1)	ハイブリッド型の講座の実施
(2)	企業等と連携した，学校や家庭ではできない体験学習型講座の実施
(3)	若い世代・働き世代へ向けた地域の魅力発信や仲間づくりの促進
(3)	サークル団体の活動に結びつく参加型体験型の講座の実施
(4)	貸館などの場の提供による活動支援及び公共施設予約システムの利用支援

# 【別紙1】令和7年度生涯学習センター事業運営の考え方

## 重点項目 (1)

### 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進



一人ひとりの主体的な学習活動を支援し、個人の成長や自己実現を促す講座等を開催する。

(例)

- 子育てや仕事などで時間がない方も気軽に参加できる「ハイブリット型講座」の充実
- 参加者の状況や段階に見合ったデジタル関連講座の実施
- SNSやQRコード、電子申請システム等、デジタル技術を活用した若い世代・働き世代への講座の情報発信や参加者募集
- 「学ぶ楽しさ」を感じ、「仲間づくり」につながる講座の開催
- パソコンやスマホ教室、防災に対応した講座、コロナ禍における開催方法を工夫した講座など、「社会的課題に対応した講座」の開催
- 異業種交流や同世代の意見交換など、若い世代が興味を持ちやすい学習スタイルを取り入れる。

参考【後期計画の基本指標】

**主体的に学習に取り組んでいる市民の割合**

令和3年度：23.9% ⇒ (令和9年度：50.0%)



# 【別紙1】令和7年度生涯学習センター事業運営の考え方

## 重点項目 (2)

### 地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進

家庭の教育力向上を促す講座の開催や、家庭・学校・地域が連携する、つながるきっかけづくりなど、地域全体で子どもを育む教育活動の支援に取り組む。

(例)

- ・ 企業等と連携した、学校や家庭ではできない体験学習型講座の実施
- ・ 子育て世代の保護者の気づきや悩み解決，親子の交流や仲間づくり，コミュニティ形成を促す参加交流型講座の開催
- ・ 土日や平日夜の講座の開催など共働き世代等でも参加しやすい環境づくり
- ・ 魅力ある学校づくり地域協議会等の教育活動を支援する団体への支援や，学校・地域・企業等と連携して子どもの成長を支える教育活動を推進する子育て世代や青少年を対象とした講座の開催

参考【後期計画の基本指標】

地域における学習支援や体験活動等の教育活動に参加した活動者数及び  
児童・生徒数

令和3年度：81,171人 ⇒ (令和9年度：170,000人)

〈内訳〉活動者数：(令和3年度) 20,555人 ⇒ (令和9年度) 30,000人

児童・生徒数：(令和3年度) 60,616人 ⇒ (令和9年度) 140,000人



# 【別紙1】令和7年度生涯学習センター事業運営の考え方

## 重点項目 (3)

地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実

地域や社会を支える人材の育成に向けて、地域理解を促す講座や学んだ人が様々な活動主体とつながる学習機会を提供する。

(例)

- SNSやデジタルの活用による若い世代・働き世代へ向けた地域の魅力発信
- サークル団体の活動に結びつく参加型体験型の講座の実施
- 「地域学講座」など地域課題を共有し、地域に対する理解や愛着を育む講座の開催
- NPO・大学・企業等と連携し、専門的な知識や技術を獲得することができる学習機会や情報の提供

参考【後期計画の基本指標】

**地域に貢献する活動に参加している市民の割合**

令和3年度：29.5% ⇒ (令和9年度：35.0%)



# 【別紙1】令和7年度生涯学習センター事業運営の考え方

## 重点項目 (4)

持続的に地域住民の学習や活動，交流を支援する地域教育の基盤の強化

市民が学習や活動をしやすい環境整備とともに，学習相談，情報提供等の機能の充実を図るなど，地域拠点としての基盤の強化に取り組む。

(例)

- 生涯学習団体や教育活動を行う団体等への施設貸出など，場の提供による活動支援
- 活動場所を確保するための公共施設予約システムの利用支援
- 生涯学習情報提供システム（マナビス）の積極的な情報発信など，学習者や活動したい人を様々な活動へ結びつける学習相談支援サービスの充実
- 幅広い年代の地域住民等が「交流・活動する場」として，施設の環境整備や役割の周知

参考【後期計画の基本指標】

学習や活動をおこなう環境に満足している市民の割合

令和3年度： - % ⇒ (令和9年度： 50.0 %)

(現時点での実績値が無いので，今後，市民意識調査で確認し，目標値を決定)



# 【別紙1】令和7年度生涯学習センター事業運営の考え方

共通

## 講座実施にあたってのポイント

リピーターだけでなく、  
新規の参加者を集める工夫

- ・ 講座内容の見直し
- ・ 募集方法の追加
- ・ チラシの工夫

参加者の状況やレベルに  
見合った講座の実施

- ・ 内容を固定せず、  
ステップアップ講座などを実施

働き世代やプレシニア世代の  
参加促進

- ・ 土日や夜に講座を開催
- ・ 託児の充実

男女ともに参加しやすい  
環境の整備

- ・ 講座名称の工夫  
「パパママ応援講座」、  
「男の料理教室」、「女性学」など

